



新型コロナに打ち克つ！ ワクチンを接種しよう！

なぜワクチンを接種するのか

予防接種には、「個人を守る」と「社会を守る」の2つの役割があります。

1. 「個人を守る」；予防接種を受けるとその病気に対する免疫（抵抗力）がつけられ、その人の感染症の発症あるいは重症化を予防することができます。
2. 「社会を守る」：多くの人が予防接種を受けることで免疫を獲得していると、集団の中に感染患者が出ても流行を阻止することができる「集団免疫効果」が発揮されます。さらに、ワクチンを接種することができない人を守ることにもつながります。



コロナワクチンの種類

国内・海外において、不活化ワクチン、組換えタンパクワクチン、ペプチドワクチン、メッセンジャーRNA（mRNA）ワクチン、DNAワクチン、ウイルスベクターワクチンなど様々な種類のワクチン開発が行われています。

コロナワクチンの開発状況

国	企業／アカデミア	ワクチンの種類	進行状況
米独	ファイザー／ビオンテック	mRNA	海外：緊急接種許可又は承認 国内：承認
米	モデルナ	mRNA	海外：緊急接種許可又は承認
英	アストラゼネカ	ウイルスベクター	海外：緊急接種許可又は承認 国内：承認申請
米	ジョンソンエンドジョンソン	ウイルスベクター	国内：第Ⅰ相臨床試験
日本	塩野義／感染研／UMN ファーマ	組換えタンパク質	国内：第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験
日本	アンジェス阪大／タカラバイオ	DNA	国内：第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験

ワクチンの作用機序

これまでの不活化ワクチンに用いられた病原体の成分は、タンパク質や多糖体が主体でしたが、コロナワクチンでは、mRNA、DNAなどの核酸が用いられています。核酸ワクチンやウイルスベクターワクチンは迅速に実用化できる利点があり、緊急性が求められるパンデミックワクチンの方法として有用です。

mRNA ワクチンの作用機序 (ファイザー社、モデルナ社)

mRNAワクチンは筋肉内注射で投与されますが、筋肉細胞や樹状細胞という免疫担当細胞の中でmRNAをもとにタンパク質が作られ、生成されたタンパク質の一部がリンパ球に提示され、免疫応答が起こります。また、mRNA自体が自然免疫を刺激する働きもあり、免疫誘導を促進します。



西宮市におけるワクチン接種について

接種時期

安全で有効なワクチンが承認され、供給できるようになった時点で、医療従事者等への最初の接種が2月17日から開始されました。医療従事者等の後、高齢者、基礎疾患を有する方等の順に接種を進めていく見込みです。

接種場所

各医療機関での接種や、特設する接種会場での集団接種を行う予定です。市域内での配置を考慮し、接種会場の候補施設として、体育館・公民館など一定規模以上の公共施設を17カ所確保しています。接種を実施する具体的な場所については、正式に決まり次第、市政ニュース、市のホームページなどで速やかにお知らせします。



接種費用

接種費用は無料です。

接種方法（接種券・予約・回数など）

※下記については、現時点での見通しであり、状況により変更される可能性があります。

- 接種券を、65歳以上の方に、3月中旬以降に送付する予定です。
- 64歳以下の方については、4月中旬以降に送付する予定です。
- 接種予約方法については、決まり次第、市政ニュース、市のホームページ <https://www.nishi.or.jp/>などで速やかにお知らせします。
- 接種回数については、1人2回接種となる予定です。

また、医療従事者等の方等の接種場所については、勤務先からお知らせする予定です。

接種を受けた後に副反応が起きた場合の健康被害救済制度

一般的に、ワクチン接種では、副反応による健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が、極めて稀ではあるものの避けることができないことから、救済制度が設けられています。救済制度では、予防接種によって健康被害が生じ、医療機関での治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。

新型コロナワクチンの接種についても、健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく救済を受けることができます。

ワクチン接種の時期

対 象	時 期
医療従事者向け 先行接種（約4万人）	2月17日より
医療従事者（約470万人）	3月中
高齢者（65歳以上）	4月中旬
基礎疾患のある人、高齢者施設等の従事者	4月以降
その他	ワクチン供給状況に従い、順次接種

新型コロナウイルスに対するワクチン（ファイザー社）は2月14日に承認され、2月17日より医療従事者向け先行接種が開始され、3月中に医療従事者等に、4月中旬より高齢者（65歳以上）に接種される予定です。

春風地区には約3500名の65歳以上の高齢者がおられ、4月中旬からワクチンの接種が開始され、段階的に新型コロナウイルスへの免疫が獲得されていくでしょう。さらに、64歳以下の一般の方々もワクチンを接種され、コロナウイルスゼロの地区になることが期待されます。

感染予防、発症予防、重症化予防の観点から、当春風地区福祉協議会ではボランティア活動に従事されている皆様におかれましては、積極的ワクチン接種されることをお願い申し上げます。

これにより昨年度より中止されていた春風地区事業（老人昼食会、元気アップサークル、子育てサロン等）の再開を目指したいと考えております。

（西宮市春風地区社会福祉協議会会長 矢部友邦）

